

# KYOKURYO

旭陵倶楽部

NO.21

未来へつなぐ旭陵の

旭陵同窓会東京支部 -創設50周年-



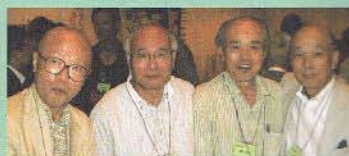
たった18年しかいなかったけど。

発行日 2011年6月26日

発行責任者 / 磯部弘志 編集長 / 笹野俊也 編集委員 / 栗野 浩、小迫 勲、田中弘隆、峯藤正也

photo 下関市彦島三井東圧から住友金属小倉を望む







旭陵同窓会東京支部長

**倉重英樹** (第38期生、1961年卒)



### 明日の日本を語ろう

今年には旭陵同窓会東京支部設立50周年の記念すべき年です。8月11日の東日本大震災で、今年の総会・懇親会につきましては開催すべきか否か幹事団とともに悩み、取り敢えず準備活動を休止しました。

東日本大震災にて亡くなられた方々へのご冥福を祈り、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げ、復興支援に協力するのは日本国民として勿論のことですが、他方自粛自粛では経済がより一層停滞し復興資金にも問題となる可能性が大きい。従ってできるだけ早く日常の活動に戻ることも大切なことと判断し、例年通りの7月開催を決めるとともに準備活動を再開しました。

堺屋太一氏も今の日本には震災復興、経済の立て直し、娯楽・文化の活性化が必要と説かれています。

震災に加えて、政治の混乱、原発事故による放射能問題、経済の停滞など閉塞感の強い我が国の現状を一日も早く脱却することが望まれます。

それはわれわれ一人一人が個を確立し国のあるべき姿を、この国のビジョンを語りあうことから 始まるのではないかと思います。

「祖国があなたのためにに何をしてくれるかではなく、あなたが祖国のために何ができるかを問おうではないか」といった1961年1月29日のケネディ大統領の就任演説の内容が今の日本にはぴったりのようです。

明治維新をリードしたのは長州藩の先人たちでした。本日の総会・懇親会が西高のDNAを共有する仲間が青春時代の美しき思い出を語り、世代間の壁を超えて絆を広め、同時に明日に思いを馳せて、国のあるべき姿も大いに話し合える場になればと願っております。

準備活動一か月休止の影響で会報も当日にお渡しすることとなりましたことご了解いただきますようお願い申し上げます。

旭陵同窓会会長

**木下 毅** (第37期生、1960年卒)



### 日本の文化・伝統・国土を大切にしよう

平成23年度旭陵同窓会東京支部総会が創設50周年を迎え「未来へつなぐ旭陵の絆」のテーマで盛大に開催されます事を心からお慶び申し上げます。

このテーマは震災前に考えられたものと思いますが、まさに震災後の日本復興に一歩大事なことです。幹事の皆様の先見性に敬意を表します。

東日本大震災でも、先祖からの言い伝えを大切にしていた地域では、人的被害が少なかった様です。先日、アフガニスタンで医療活動をされている中村哲さんのお話を伺いました。日本人であることでもとても尊敬されたそうです。一つは日露戦争に負けなかった事です。アフガニスタン人は地理的な関係でもロシアの強さと怖さを知っていたからです。これで日本もロシアの属国になってしまうのだと、かわいそうだと思っていたとのこと。それが負けなかった事で尊敬していると。2つ目は唯一の被爆国である事、第二次世界大戦後の荒廃から見事に立ち直り経済大国にまでなった事を尊敬しているという事だそうです。

先生は村には水が必要であると大灌漑工事を始められました。1760年に筑後川の山田堰で使われていた生態系にやさしい工法で行われました。現場にある石を使い、人の手で取水口などを作ってゆきました。日本古来の文化やしきたりの偉大さをあらためて感じました。私たちは日本の文化・伝統・国土を後世に伝えてゆかなければいけないことを外国の人と東日本大震災からあらためて学んだような気がします。



平成23年度  
旭陵同窓会東京支部総会  
総会の盛会を祈る！！  
旭陵東京38期生一同



平成23年度  
旭陵同窓会東京支部総会  
開催おめでとうございます  
旭陵同窓会  
会長 木下 毅 (第37期生)

### 伊藤内科医院

内科・循環器科・呼吸器科・胃腸科

院長 **伊藤 肇** (33期)

下関市禰田北町 13-36 Tel : 083-253-2040

**JCS**

Japan Computer Services Inc.  
www.jpcoom.co.jp

株式会社  
ジャパンコンピューターサービス

代表取締役

**吉川 順一** (42期)



山口県立下関西高等学校校長  
**中村芳喜** (第48期生、1971年卒)



### 東京支部総会に寄せて

東京支部の皆様におかれましては、ますますご壮健にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

私はこのたびの人事異動により岩国高等学校から転任して参りました。「天下第一関」を校是とする名門校の校長として身の引き締まる思いでございます。

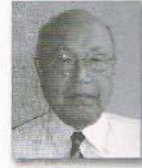
さて、東日本大震災は未曾有の大惨事となりました。慎んで亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、未だ避難生活を続けておられる皆様に心からお見舞いを申し上げます。

「国難」という言葉も使われておりますが、こうした厳しい状況の中で、日本国民が困難に立ち向かう力強さと、互いを支え合い、励まし合う優しさを共有していること、とりわけ若い世代が募金等の支援活動や被災地でのボランティア活動に活躍する姿に勇気づけられます。

本校におきましても、全日制・定時制それぞれの生徒会が直ちに募金活動を進め、さらに、始業式では新生徒会長が「一回限りでなく、長く支援を続けよう。私たちにできることを考よう。僕はみんなの笑顔のためにがんばります」と呼びかけました。本校のみならず全国の高校生が大震災の重みを受け止め、それぞれの場で「自分にできることは何か」と問い、行動していることは次の時代につながる光となるでしょう。

私も、卒業以来四十年振りに母校に戻り、教員生活最後の二年間を後輩たちと共によりしっかりがんばろうと決意を新たにしました。どうかよろしく願いいたします。

旭陵同窓会幹事長  
**判野充昌** (第37期生、1960年卒)



### 幹事長就任にあたり

東京支部総会が盛大に開催されることをお喜び申し上げます。

さる3月11日に発生しました東日本大震災により東京支部の皆様には地震や計画停電等で大なり小なり被害があったのではないかと思います。心からお見舞い申し上げます。

又、東北地方を中心に多数のお亡くなりになられた方のご冥福と被害にあった方へ心からお見舞い申し上げます。

さて、私こと、このたびの旭陵同窓会で幹事長に就任することとなりました。宜しく願います。

浅学非才の身で今年古希を迎える私が、この伝統ある母校の同窓会の幹事長に推薦されようとは夢にも思っておりませんでした。

同窓会との関わりを振り返りますと、山口県庁に勤めていたことから山口支部の総会には昭和46年頃からほとんど欠かさず出席してきました。

5月28日には、山口支部長に岡田山口県副知事が就任することになっています。

又、私たち37期生は木下同窓会長を中心に年2回開催しています。

最近では毎年桜の名所になっている忠霊塔に高校時代の早飯したことを思いだし弁当持参で花見をしています。

ぜひ一度足を運んで下さい。素晴らしい場所になっています。

ここで長年にわたり幹事長を務められた前幹事長藤本正三様のご苦労に心から感謝と敬意を申し上げます。

私は何分微力ではありますが、一意専心の思いで木下会長を支え旭陵同窓会のますますの発展に努力するつもりであります。

皆様のご指導ご支援を宜しく願い申し上げます。



祝  
 平成23年度  
 旭陵同窓会東京支部総会



旭陵ゴルフクラブ  
 東京支部会

会長 町田 顯 (32期)  
 会員募集！ 事務局 磯部弘志 (57期)  
 TEL 090-7416-9353

医療法人 裕祥会  
 赤坂胃腸クリニック

院長 村田 博 司  
 (昭和50年卒 52期)

〒107-0052 港区赤坂7-9-1 トーヨー赤坂ビル6F  
 TEL:03-3560-1123 FAX:03-3505-6011  
<http://www.hoyumedia.com/co/ag/akasaka>



## 新旧幹事代表メッセージ

2010(平成22)年度当番幹事代表

**林 芳正** (第56期生、1979年卒)



記念すべき  
東京支部創設50周年に向けて

旭陵同窓会の皆さま、昨年は大変お世話になりました。おかげさまで5月の旭陵フォーラム、358名という過去最高のご参加を頂いた7月の総会を初め、幹事の任務を無事終了させていただきましたことを56期一同感謝申し上げます。

ああ、もうあれから1年が過ぎようとしている…現在の率直な感想です。55期の皆さまから引き継いで全速力で駆け抜けた1年間、本当に楽しく充実した“同活”でした。今でもゴルフ大会、ライブ演奏、何かと理由を見つけて行う飲み会などその余熱は冷めないとはいえ、やはり総会という一大イベントに向けての加速度的な“同活”に身を置けたということは、幹事期ならではの“特権”であったと今しみじみふり返っております。

そして3月11日の東日本大震災。この前と後で日本が、社会が、また自分が、全く別のものになってしまったという思いを日々強くしております。訪れた被災地ではその規模のあまりの大きさに言葉を失いました。

震災の当日自室(12階)でのあの大きな揺れから始めて、こんなことが我が身に、わが国に実際に起こったのだということを日々かみしめながら、この事を契機として復旧から復興へ、復興と共に日本全体の再生につなげていくという大きな責任を我々は負っています。

明治維新、戦後の復興に続くまさに“第3の日本再生”に責任世代として立ち向かうという事にひるまず、むしろ“天命”を授かったと感謝しながら努力を傾けていきたいと思っております。

この震災の中、予定通り総会を行う事を決断され、着々と準備を続けてこられた57期の皆さまが、今年の総会を、創設50周年かつ震災後初の総会にふさわしいものにしてくださることを確信しつつ御礼の言葉とさせていただきます。

◆ 一般区域貨物自動車運送業 ◆  
◆ 各種金属製品包装・梱包・加工販売 ◆  
◆ 通 関 業 務 ◆

**日新運輸工業株式会社**

取締役会長 松浦恒雄 (第29回)  
代表取締役社長 松浦秀子 (第57回)

本社 下関市長府港町1-4番1号  
TEL 083-245-1183  
FAX 083-245-4312

2011(平成23)年度当番幹事代表

**磯部弘志** (第57期生、1980年卒)



東京支部総会の当番幹事をするにあたり、  
関係する皆さんに感謝!

15年前、57期代表として名前が掲載された。「ひとりで同窓会に出ても楽しくない」と思い、同期会「東行会」を立ち上げたのです。最初の同期会で「まだ先ですが15年後東京支部の当番幹事となります。協力宜しくお願いします。」と同期に話した。あの話がもう来てしまった。昨年協力を呼びかけたところ、多くの同級生が集い、準備活動に協力してくれた。東行会のみなさん!本当に有難うございます。

我々は1961-1962年生まれ。戦後の日本社会において、子供時代に右肩上がりの成長期、中学高校時代に成熟期、社会人になってバブル経済、30歳台で「失われた10年」の時代をすごしてきた年代です。下の年代は、「新人類」とも言われていました。世代の線引きをしたとすると、我々は多分上の先輩たちの世代と同じになるのかな。

本年度、東京支部も50歳になります。今年の東京支部総会のテーマは、「未来へつなぐ旭陵の絆 旭陵同窓会東京支部 一創設50周年」としました。昨年参加者は、350名近く、これは急に増えたわけではありません。昨年の56期先輩をはじめこれまでの当番幹事をされた諸先輩が、毎年努力され継続されてきた賜物です。昨年の「旭陵フォーラム」を当日開催の「旭陵講演会」としました。旭陵同窓会は「人財」の宝庫です。その「人財」を生かした情報提供の場として継続しました。若い世代の皆様にも、この情報提供の場を魅力に感じていただければ幸いです。旭陵講演会・総会・懇親会という三部構成の形が続くことを期待いたします。

3月あの思わしい東日本大震災が発生し、総会準備活動も約1ヵ月半中断しましたが、皆様のご協力により通常通りに開催することができました。数年後日本のことが話される時、「戦後の日本は・・・」ではなく「大震災後の日本は・・・」となるのでしょうか。その日本再興のこの時に、英知あふれる旭陵同窓生が集い、お互いの意見交換や情報提供がされることがきっと何かの役に立つと信じております。当番幹事一同、一人でも多くの同窓生とお話できるのを楽しみにしております。

最後になりましたが、旭陵同窓生の皆様、旭陵ゴルフクラブでお世話になっている皆様、全国に散らばっている東行会同期の皆様から、広告の協賛ならびに多大なる寄付を戴いております。心より感謝申し上げます。

**LARSON・JUHL**

顔録と絵画のご生命は  
ラーソン・ジュール・ニッポン株式会社

代表取締役 大河原 泰介 (37期)

本社 / 〒106-0074 東京都港区高輪3-4-1 高輪併成ビル  
TEL 03(5421)2051 FAX 03(5421)2136  
URL <http://www.larson-juhl.co.jp>





**松井忠夫**

(社会)  
昭和47年4月～  
同62年3月

**故郷を思い  
世界で活躍を**

着任した年は理数科の一期生が三年生で、唐松正担任、松井副担任で、とにかく生徒諸君に鍛えられた。授業開始のベルの音が大きくて怖かったことを今もはっきりと覚えている。どんなに頑張った教材研究をして授業に臨んでも生徒の「いじめ」の質問には答えられず、なぜ西高に転勤して来たのか、前任校の方が良かったとどれほど思ったことか。

後年進路指導の三者面談で校内実力テストや旺文社模試の成績結果からして今の志望校は無理だからもうワンランク下げて受験するように話をするもなかなか聞き入れてもらえず、泣いて「先生の人生ではありません。私の人生ですから絶対に受験する」と言って頑張った生徒もいた。また今の成績ではとても志望校は無理、この大学なら合格すると云うとすんなり受け入れ受験、合格し、一年後には退学して現役の時の志望校に合格し入学した生徒もいた。当時は、国立一期校に現役で何人合格するか、これが話題の中心で、進路指導は戦争であった。そ

して担任として色々なことを経験し、生徒の志望する大学を受験させることが結果的には良い指導なのかなあと思い始めた頃にある先生から次のような言葉を聞いた。それは「進路指導とは何もしないのが最大最高の進路指導である」。この言葉に驚愕したことを覚えている。

とにかく西高では色々な素晴らしい生徒、保護者、同僚に出会った。あの時の生徒との切磋琢磨で現在の自分があると確信し、西高に感謝している。その後、豊北高校、徳佐高校高保分校、県教育委員会、防府養護、下関南高校で定年退職し引き続いて下関短大付属高校そして現在は河野学園の理事長として勤務している。最近感じることは色々な会合に出席して最年上で突然挨拶がくること。喜ぶべきか悲しむべきかよくわからない。

おわりに同窓生の皆さんが青春を過ごした故郷を思い世界で活躍されんことを期待しています。



**手束 猛**

(体育)  
昭和47年4月～  
平成3年3月

**東京支部の  
皆さんへ**

第57期卒業生の皆さん、お招き頂き嬉しく思います。71歳になりましたが、心身共に健常です。月に1回の外遊が唯一の癒しです。

西高とは縁があるようで、66歳までは全日の非常勤講師としてお世話になり、それから今日に至るまで、山高の非常勤講師として、新体育館で年間14回・70分の授業をしています。

毎日が日曜日の生活様式ですが、退職前に出来なかったことをやっています。身体に関する用語(独・仏・英・露・希・羅)、古典和歌(万葉・中世)。ただし、現在は光源氏のプレーボーイ振りのすごさに圧倒され、休眠中。

最近では、シャンソンについて頑張っています。テープからMD、一つ一つの詩・シンガーなどの整理、又、諺の数々を日本語の解釈、外国語の文献整理など。これは、人生についてよき手本になっています。

若い時から、古典植物(万年青・一〜万何等)の収集と育成は今日まで続いています。不可欠なことは巨人戦のテレビ観戦です。

上述のことは「C'est la vie!」(私の人生です。)

卒業生の皆さんとの思い出は、数え切れない程ありますが、中でも一番印象深いことは次のことです。担任(現・故人)が学部転出し、33名の浪人生を預かったことです。

同僚の心配外のことになりました。殆どの者は、立派に、それぞれ素晴らしい成果を出してくれました。それを機に体育だけでなくあらゆる分野に専念し、19年間もお世話になりました。

私は柳井高出身ですが、下関西高教員19年生としての強い自覚と誇りをもっています。皆さんとは、卒業=友人です。こんな頼りにならない者ですが、今後とも、よろしくお付き合い下さい。

最後に一句を紹介して筆を置きます。

「帰らぬ

昔を今と 思い寝の

夢の枕に にはふ橋

(新古今・夏・3・240・式子内親王)

今日この頃にふさわしい詩と思います。



**中本静暁**

(理科)  
昭和45年4月～  
同58年3月

**西高生に  
専門外は  
ダメッ**

創立50周年の記念事業で理科棟が竣工し、理数科が設置された昭和45年度に、周防部の光高から異動してきてから、補習科が廃止された58年度まで、14年間西高でお世話になった。その年、地学の相川先生が教頭でご栄転になり、担当者が空席になったので、私は地学の勉強をしておくように告げられた。しかし広津校長の後任として着任された青木校長の「西高生に専門外はいけん」という鶴の一声で、急遽1年生の地学の代わりに化学と物理を1単位ずつ、小川先生と私で受け持つことになる。その結果、2年3年と持ち上がったので、補習科も含めてワケノワカラナイ「中本物理学」を4年間も受けるという破目になった人もでた。

理科棟4階の地学実験室には、中央に大学並みの岩石研磨機があったが、運転することもなく空き室になっていたので、名井先生の指導の下で、教職員の油絵サークルができ、毎週火曜日の放課後

イーゼルを立てて集まった。炎の人ゴッホには及ばなかったが「火の会」と称して悦に入っていた。その後、文化祭に出品することを目標に、10年間で50点ほど描いたが、「ナカナカヤルジャッ」といわれた第1号の静物画は、今でも我が家に存在する。先生は下手には褒め、上手には助言するという教育の原点を実践されていたのである。先生が急に定年を待たずに退職されることになったとき、これは信じられない話であるが、U校長は私を呼んで「指導はいいから美術の授業の面倒を見てもらえないか」という。私は1日考えてOKをしたが、名井先生は「免許を持たないものには任せられない」といって、福岡在住の白井女史を招いて一件落着したことであった。

定年後の10年間の講師時代を除けば、教師生活の3分の1以上を西高で過ごすことができ、その間に結婚もし、3人の子供たちも皆旭陵同窓会に加えさせていただいた。有り難いことである。



平成23年度

**祝**

旭陵同窓会東京支部総会の開催



心よりお祝い申し上げます

**山口銀行 旭陵同窓生有志一同**

城島達朗 (57期)	吉田彰宏 (57期)	上本俊幸 (57期)
為田哲二 (58期)	尾崎良雄 (58期)	柳田清史 (59期)
曾我徳将 (59期)	伊勢崎俊博 (59期)	岩谷光二郎 (59期)
植田泰正 (59期)	重村充生 (60期)	西田敬太 (60期)
生木宏和 (61期)	塩田喜仁 (62期)	宮内智行 (63期)
森田茂樹 (63期)	有川和義 (63期)	境田敦 (63期)
前田範之 (63期)	義宮多嘉夫 (64期)	境勝弘 (64期)
竹下秀明 (64期)	山口智宏 (64期)	下崎英俊 (65期)
奥田健一郎 (66期)	上妻憲彦 (66期)	若戎賢治 (66期)
山本和寛 (67期)	木本智二郎 (70期)	森上勝 (71期)
中村悠太 (78期)		

**祝**

平成23年度 旭陵同窓会東京支部総会

総会の成功を祈念いたします

**宇部興産グループ旭陵会 有志一同**

宇部興産・宇部マテリアルズ・宇部興産ホイール

宇部興産機械・宇部三菱セメント

ユー・イー・エル





# 未来へつなぐ旭陵の



常藤 恭司

(第57期生、1980年卒)

ベトナムより

2010年7月にベトナム・ハノイに単身赴任しキヤノン電子ベトナム社長として勤務しています。会社はプリンタのユニットや部品を製造しており、ハノイ市から東に車で約45分の工業団地にあります。

ベトナムは人件費が安く(作業者は月1万円程度)、政府の誘致により多くの海外企業が進出していますが、インフラ整備の遅れ(特に電力供給不足による停電)、インフレによる年率20%を超える人件費高騰などで製造各社が生産に苦勞している状況です。

ベトナム人は日本に対し非常に好意を持っており、我が社でも地震義援金を社員が自主的に募金活動してくれました。また、日本に行くのが夢だという人が多く、日本への研修生を募集した際にはほとんどの社員がパスポートも持っていないのに応募してきたほどです。

生活面ではバイクが多く交通ルール無視なので鬱陶しいですが、日本食レストランが50店以上あり、治安も比較的良く暮らしやすい所です。但し、暑くて遊ぶところが少ないので休日はゴルフや近隣諸国への旅行で気分転換をはかっています。

赴任はしばらく続きそうですので、ベトナム語を覚えて交流をもっと深めていこうと思っています。



濱松 政信

(第72期生、1995年卒)

絆

西高を卒業してはや十数年。

靴1つでニューヨークに渡り、今は東京で頑張っています。

旭陵同窓会には数年前から参加させて頂いていますが、総会のみならずゴルフでも大変お世話になっております。

今回は『未来へつなぐ旭陵の絆』と言うテーマを頂きました。

今まさに日本全体が強い絆の下、復興支援に一丸となっています。先日発生した東日本大地震では、真っ先に三年生の時の阪神大震災を思い出しました。

私自身この2つの大震災で親戚を失ってしまいましたが、昔も今も素晴らしい仲間にも励まし支えられている事に感謝しております。

ここ数年は、『西高ロケット財団』なる会を企画し東京在住の同窓生と親睦を深めております。最近は随分若い同窓生も増え活気に満ちています。不定期ですが長州人らしい情熱を持ってお酒を呑んでいる会ですので、同郷同士でビジネス異文化交流としても活用頂けますし、業種によっては人脈を広げる為にも活用頂けます。そんな中でもこの仲間の素晴らしさを感じたのが、先の震災支援の時でした。自分自身では微々たる事しか出来ませんでしたが、熱い気持ちを持った仲間と共に被災者の方々の為に各自の得意分野を活かして迅速に支援参加を行なう事が出来ました。

このような集まりを継続的にを行い、更には旭陵同窓会東京支部の広がりにも繋がれば最高だと思っています。

世代を超えて、このかけがえの無い素晴らしい絆に乾杯出来る事を楽しみにしています。是非お気軽にご参加下さい。





## 岡村洋巳

(第60期生、1983年卒)

### 3.11 東日本大震災に想う

平成23年3月11日14時46分、日本の太平洋三陸沖を震源とした巨大地震が起こった。想像を絶する津波、火災、建造物の倒壊・液状化現象・地盤沈下、そして、福島原発事故に伴う放射線漏れや大規模停電など、東北は勿論のこと、日本全体も大打撃を被った。

その日の午前中、僕は霞ヶ関にいた。同僚と少し遅い昼食を終え、渋谷にある会社へ戻った。8階にある自分の席で、あの未曾有の揺れに遭遇した。会社のビルは免震構造らしいが、ミシミシと唸りながら不気味に揺れた。どこからともなく、「震源、仙台!」という声が聞こえた。窓からはお台場方面から黒い煙が上がってい

るのが見えた。家族とは携帯メールで安否確認ができた。

その日は、会社から定時帰宅の指示が出た。会社泊でも良かったが、とにかく帰宅したかった為、交通手段が何かあるだろうと思い、渋谷駅のバスターミナルに向かった。ターミナルに向かう途中、既に帰宅をあきらめて一杯やろうという集団、六本木方向からもくもくと国道246号を歩いて家路を急ぐ人達を見た。結局、帰宅をあきらめた。バスターミナルから会社まで、わずかな距離だが、被災を実感し気力が大事だと思った。結局、深夜になって電車が動き始めた為、帰宅できた。

明日のことは誰にもわからない。今日あつて明日なき身の覚悟で、心丈夫に混迷の時代を乗り切っていきたい。

# Atrris

Advanced Technology Research for Reliable Information Systems

企業は分業で仕事が細分化して運営されています。分業化された仕事の役割(ロール)を統合するのが基幹システム(ERP)です。部門システムを結合しても基幹システムにはなりません。SAPなどのERPパッケージを導入している会社においても、全社を統合する基幹システムとしてではなく、単なる財務会計システムのような部門システムとして使われていることがほとんどです。現状の業務分析(AsIs)から、BPR(ビジネスプロセスリエンジニアリング)を経て将来の基幹システム(ToBe)を作り上げる上流工程のお手伝いから、中流、下流の設計、実装のお手伝いをするのが、アトリスのミッションです。

安光正則(第45期)



<http://www.atrris.com>  
株式会社アトリス  
世田谷区用賀2-39-11用賀STビル3F TEL:03-5491-5125



## クラブ紹介

下関西高校 水泳部顧問

### 水泳部 竹田基典

#### 沖縄インターハイ7位入賞!

「平成22年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会」が、平成22年8月17日(火)から8月20日(金)まで沖縄県立奥武山水泳プールで行われた。3年の末田亮生君が、種目200mバタフライの決勝において7位入賞を果たした。

1年次より毎年インターハイや国民体育大会にバタフライの山口県代表として出場してきたが、惜しいところで決勝を逃してきた。しかし、全国の強豪がひしめく中、3年間最後の大舞台で200mバタフライ予選において、山口県高校新記録を出して予選8位に入ることができた。

予選タイムが各組ごとに電光掲示板に映しだされ、最後に20位までの高校名・氏名・タイムが表示されるとき、私は「頼む8位以内…」と祈るような気持ちだった。応援に来られていた父親も「やっと決勝に残りました」と涙を浮かべて喜んでおられた。予選終了後、すぐに

選手控室に行ってみると、末田君は「決勝は思いっきり楽しみたいです」と最高の笑顔だった。下関市内から本校末田君を入れて4名の生徒が沖縄インターハイに出場していたが、各高校の顧問ともども全員で祝福してもらい今



までの彼のひたむきな努力が報われたひとときであった。

末田君卒業後、現在2年の橋本直樹君が、種目100m・200m背泳ぎにおいてインターハイや山口県で行われる国民体育出場をめざして日々練習を重ねている。この種目においては山口県1位ではあるが、タイムでは目標にまだ届いていない状況である。しかし、必ず末田君に続いて目標を達成してくれるものと期待している。

最後に両親はもちろんのこと、周囲の方々の支えがあってこそ水泳の練習ができ、大きな成果も上げることができることを忘れずに今後も頑張っていきたいです。

### バレーボール部

バレーボール部女子

### 大村萌々子

#### 総体予選へ向けて~ライバルとの戦い~



私は高校生になって初めてバレー部に入りました。同学年はもう一人、春潮風香しかいません。でもその春潮はバレーがすごく上手で、しかも何をしても一所懸命です。「ライバル」というのはおこがましいです

が、私は彼女に少しでも追いつこうと、集中して練習してきました。

昨夏、先輩が引退すると、新チームは私たち二人と一年生五人、併せて七人でのスタートとなりました。少人数のためなかなか練習がうまくいかず、試合も負けてばかりでした。でも、繰り返し反省しながら練習を進めるうちに、チームにまとまりが出来るようになりました。こうして

臨んだ秋の県体で岩国高校坂上分校と対戦、しかし惜しくも負けてしまいました。

今年になって新一年生が四人入部し計十一名、そして私たちは最上級生です。先月の春の県体では、坂上分校と再び対戦し、今度は勝つことが出来ました。念願の新チーム初勝利を手にして、少人数ながらも技術や集中力を高める練習をしてきたことが評価されたのかなと、とても嬉しくなりました。来月の総体予選に向けて、気持ちが高ぶってきました。

転動などもあって毎年顧問の先生が変わられたのですが、その分、たくさんの教えを受けられたと思っています。全部で十一名しかいませんが、その分、お互いの関係が他のどのチームよりも濃いと思っています。

私と春潮にとって最後の試合・総体予選では何の因果か坂上分校と三たび対戦することになりました。今の目標は「ライバル」坂上分校に勝つことはもちろんですが、二回戦や三回戦につながるように自信を持って自分たちのプレーをすることです。そして春潮や後輩達、お世話になった顧問の先生方に感謝しながら、自分たちのできる最高のプレーをしたいと思っています。

### 囲碁将棋部

囲碁将棋部2年

### 木村昭太郎

#### 全国大会を経験して

囲碁将棋部は現在3年生5人、2年生5人、1年生1人で部活動時間ぎりぎりまで活動しています。一生懸命練習したおかげで、昨年度は文部科学大臣杯全国囲碁選手権大会山口県大会1位、山口県高校総合文化祭将棋部門大会男子団体1位と、囲碁部門、将棋部門ともに全国大会への出場を果たしました。私個人は将棋の団体の一員として全国大会に出場しましたので、その体験を述べたいと思います。

全国大会は2010年8月、宮崎県で行われました。私はこの大会で、冷静でいることがとても大事であり、とても難しいことであると学びました。大会では考慮時間が決まっており、それを使い切ると一手三十秒以内で指さなければ負けとなってしまいます。私の二局目は自分が優勢でしたが、最初のうちに考慮時間を使い切ってしまう、後半は一手三十秒以内で指さねばならない状況となりました。そのために、冷静に考えればすぐに分かる良い手も分からなくなり、最後に大逆転負けを喫してしまいました。この後も内容の良い将棋が指せ

ず、団体としては1勝3敗となり、良い結果が出せませんでした。このような苦い思いをしましたが、将棋は最後には技術も必要であるし、精神力も高くなければならないと感じました。

この大会の反省を次に活かすために、部活の練習でも時間の使い方を考え冷静に考えられるように訓練しています。今年の5月28日・29日には今年度の山口県高校総合文化祭将棋部門大会が行われます。昨年の反省を活かしながら県大会を優勝して全国大会にも出場し、悔いを残さず全力を尽くして頑張りたいと思います。





# 竹内国際特許事務所

国内及び海外に於ける特許、商標、意匠に関する手続き

代表者 竹内 裕 (第37期生)  
弁理士

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目1番地 西脇ビル701号  
TEL: 03(3264)7792 FAX: 03(3264)7834

## 内科・循環器・リハビリテーション科 医療法人其桃会 西尾病院

院長 西尾 秀樹 (57期)

山口県下関市竹崎町1丁目16番3号  
TEL 083-223-8138

特許業務法人

### 第一国際特許事務所

代表社員 西川 正俊 (43期)  
弁理士

〒108-0014  
東京都港区芝4丁目10-5 ダヴィンチ田町4階  
電話 (03) 5476-7300  
FAX (03) 5476-7301

### 麹町総合法律事務所

弁護士 竹内 俊文 (41期)

〒102-0084 東京都千代田区二番町11-10  
麹町山王マンション606号室  
電話 (03)3288-0481(代)  
FAX (03)3288-0480

平成23年度 旭陵同窓会東京支部総会の開催を  
心よりお祝い申し上げます



旭陵同窓会 平成23年度幹事 73期一同





# 旭陵ゴルフクラブ

西本 靖 (第57期生、1980年卒)

本年5月の第34回旭陵ゴルフ会は関西支部との合同開催を予定しておりましたが、震災の影響により残念ながら中止となりました。

ということで、2度目の寄稿となりますが、小生が参加した過去のゴルフ会の思い出を記したいと思います。

最初に参加したのは1999年5月、40期和田先輩のご尽力により、中部銀次郎先輩が設計を手掛けられた「久慈大洋GC(現SPA&ゴルフリゾート久慈)」においての第10回大会でした。早朝、ゴルフバッグを背負って集合場所の東京駅八重洲口へ。そこからバスで茨城県のコースに向かいました。当時38才、40名ほどの参加者の中では同期の磯部さんと並び最年少でした。最初は知らない先輩方と一緒にラウンドすることに一抹の不安を感じていましたが、同窓の絆でしょうか、楽しくラウンドすることができました。当時結構調子が良く密かに上位進出を狙っていましたが、易いようで難しい、難しいようで易いコースに翻弄され、結局は手ぶらで帰る羽目に。この大会は西高にちなんで24位の賞品が豪華なのが特徴です。(秋の大会はふぐ刺し・ふぐちりのセットです。)ゴルフを始められた同窓若手のみなさん、上手い下手は関係ありません。中部先輩のゴルフ哲学である“あるがままに”を継承し、ゴルフを楽しみながら同窓の絆を実感してみませんか。

か。24位の西高賞も狙い目ですよ。

2001年の春の大会の時だったと思いますが、いつも岐阜県から参加いただいている27期の辛島先輩に「ドリアン」をご馳走になったのも忘れられない思い出です。果物の王様「ドリアン」は強烈なおいのため、室内で食べることができず、夕日で赤く染まる中、クラブハウスの外でいただきました。以前タイのバンコクでドリアンジュースは飲んだことがありましたが、実を食べたことはありませんでした。においはきつかったですが、結構おいしいものでした。辛島先輩、ごちそうさまでした。

昨年秋の第33回大会は太平洋クラブ益子コースで行われました。遠くで蒸気機関車の汽笛が聞こえる(真岡鉄道)コースで同窓生とラウンドするという、本当に昭和の時代にタイムスリップしたような気がしました。優勝は同期の磯部さんでした。20世紀のころは、当たたらぶっ飛ばけれど、どこに飛んで行くのかわからなかった彼が優勝するとは…。この10年間の精進の賜ということにしておきましょう。71・72期の若手にも参加いただきましたが、同窓若手ゴルファーの皆さん、遠慮なく参加ください。中部銀次郎スピリッツズムを継承していきましょう。秋の大会でお待ちしています。



1999年5月 第10回大会

内科・放射線科

西川内科クリニック

院長 西川英一 (S55年卒 57期)

山口県下関市上田中町6-1-17  
TEL:083-222-7600

祝 文化庁長官賞受賞

52期 高原祐二君作  
硯「無地研」

第23回伝統工芸共工委員会展

52期 理数科有志



平成23年度

旭陵同窓会東京支部総会

総会の盛会を祈る！！

第47期生 一同

祝

平成23年度 旭陵同窓会東京支部総会

絆 ~世代を超えて~

55期生 一同

祝

平成23年度 旭陵同窓会東京支部総会

総会の成功を祈る！

JFEグループ 旭陵同窓生有志

来島慎一 52期  
村上伸二 56期

河野正樹 55期  
西村公宏 60期

吉松秀格 56期  
久保啓 64期



旭陵同窓会広島支部 支部長

**中村義惟** (第38期生、1981年卒)



### 広島支部の活動について

旭陵同窓会広島支部は、現在会員約300名の名簿を作っており、有志による年会費により運営しております。

同窓会活動としては、現在あまり活発とは言えませんが、永年先輩の方々が築いてきた「絆」を大切にしようと、ささやかながら、①毎年秋に開催する支部総会、②毎年1月に開催される全国都道府県対抗ひろしま男子駅伝、③広島山口県人会の各種会合への出席について、会員に呼びかけ、顔を合わせよう努めております。

広島山口県人会との関わりについては、11年前の平成12年に「山口きらら博覧会」の開催に向けて、広島からの大量動員を図るため、広島山口県人会が発足しましたが、その節、県下の高校の同窓会が起点となりました。

事務局の山口銀行(本店 下関市)との関係が深いこともあり、下関西高は県人会で中心的な役割を担ってきました。

現在も、広島の地元では「RCC」と親しまれている中国放送(株)の安東会長(38期卒)が広島山口県人会の副会長に就任しており、私も会計監事として名を連ねております。

広島支部の同窓会としては、広島地区で比較的同窓会員が多い①マツダ、②中国電力グループ、③山口銀行の各企業を中心に行事に参加してもらうよう働きかけているところです。

今後の課題としては、私たち役員も高齢化してきていますので、①高年層、②中年層、③若年層の各年代別にリーダーを養成してゆくこと。又、同窓会員同士、自分の得意とする能力分野を生かし、他の会員に積極的に声をかけることが、自ら道を拓くことや自分をより高めてゆくことにつながるとPRしてゆくことも役員の務めと考えています。

**祝**

平成23年度 旭陵同窓会東京支部総会

三井不動産旭陵会

下村秀樹(55期)・花井尚(66期)

本をお譲り下さい

ふるほんや

書籠 高田書店

本社 〒123-0842 東京都足立区栗原1-7-24  
店販 TEL03-3884-4449 FAX03-3884-5055

高田 道治 (40期)

**祝**

平成23年度

旭陵同窓会東京支部総会

支部設立50周年の記念すべき総会の

開催おめでとうございます

当日のご盛会を祈念いたします

58期 来年度当番幹事 一同

「輝かしき伝統を来年度しっかり引き継ぎます！」



## 旭陵同窓会東京支部便り



### 2010(平成22)年度活動報告

- 1 東京支部総会・懇親会の開催  
2010年7月24日(土)東京プリンスホテル  
テーマ:みんな、おかえり。～あの場所へ、あの日の続きへ～  
参加者:358名
- 2 旭陵フォーラムの開催  
日時:2010年5月30日(日)星陵会館ホール(永田町)  
テーマ:価値創造のコラボレーションを求めて  
基調講演:倉重支部長(38期)  
パネリスト:戎崎俊一(54期)、貞包みゆき(68期)、林芳王(56期)  
フォーラム参加者:135名
- 3 育みの会の開催  
日時:2010年6月12日(土)東京プリンスホテル
- 4 広報活動  
東京支部会報「旭陵倶楽部第20号」発行

### 2011(平成23)年度活動計画

- 1 東京支部会員名簿の整備
- 2 広報活動  
1) 東京支部会報「旭陵倶楽部第21号」発行  
2) 支部ホームページの維持・更新協力
- 3 不部・支部・他校及び県庁、市役所の東京出先機関との交流・情報交換
- 4 常任委員会  
2011(平成23)年2月5日(土) ホテルグランドパレス  
平成22年度活動報告・会計報告、ウェブ委員会年次報告、  
新役員選任、平成23年度活動計画・予算案承認
- 5 東京支部総会・懇親会並びに講演会の企画・準備・開催

東京支部会員各位は、2011(平成23)年度総会で  
下記役員のご承認をよろしく願いいたします。

支部長 吉川順一(42期生)	常任委員 鈴木重人(39期生)
副支部長 栗明純生(46期生)	高田道治(40期生)
顧問 須磨幸蔵(28期生)	竹内俊文(41期生)
西本 正(31期生)	土野耕二(43期生)
吉井 博(32期生)	梅田晴正(44期生)
和田一雄(33期生)	三宅晴久(45期生)
白井哲三郎(34期生)	西 真慶(47期生)
木下陽三(35期生)	上田隆実(48期生)
倉重英樹(38期生)	森脇敏和(49期生)
常任委員 有田孝久(21期生)	門前孝志(50期生)
池田治郷(21期生)	有川起巳(51期生)
江川 洋(24期生)	木村康則(52期生)
湊 和夫(27期生)	新村 篤(53期生)
西村明允(28期生)	戎崎俊一(54期生)
泉 淳治(32期生)	長山恒正(55期生)
山時 司(33期生)	林 芳正(56期生)
山城昌巳(35期生)	会 計 山口正利(56期生)
中川真幸(36期生)	会計監査 山口 直(55期生)
貞國哲雄(37期生)	旭陵ゴルフ 磯部弘志(57期生)
萩谷誠美(38期生)	幹 事 萩谷誠美(38期生)

こころを、一步、前へ。

平成23年度  
旭陵同窓会東京支部総会の成功を  
お祈りいたします

昨年は有難うございました  
皆さまとともに、ふるさとへ帰ったような  
豊かな気分にあふれたことを深く感謝いたします

私たちの国が厳しい時を迎えているいま、  
皆さまとこころを一つにして、  
ともに前に進んで行きたいと願っています

平成22年度幹事 56期生一同





**祝 旭陵同窓会東京支部総会**  
 E S S 同窓会も開催！  
 7月22日(金) in 東京 1月2日(月) in 下関  
 問合せ: 下村秀樹(55期)shimomura-h@bitcat.net

**祝**  
 平成23年度  
 旭陵同窓会 東京支部総会  
 盛会を祈っています  
 梅生 D51の会 黒井村



**祝 平成23年度旭陵同窓会東京支部総会**



Shibuya **Hikarie**

Town Value-up Management  
**東急建設株式会社**

田村健二 (55期)  
 吉永 旭 (57期)

**株式会社 林商店**



下関 唐戸市場  
 海産物卸問屋  
**林 憲志(57期)**

唐戸市場に来たら林商店にぜひ寄ってください。  
 市場価格でお待ちしています！

フリーダイヤル：0120-884-835  
 〒751-0815 山口県下関市本町1-4-20  
 URL: <http://www.hayashi-shouten.com/>  
 e-mail: [khayashi@hayashi-shouten.com](mailto:khayashi@hayashi-shouten.com)

東京で瓦そばが食べられます

てしごとや  
**ふく鳥**  
 TESHIGOTOYA FUKUNOTORI



**上野 真史 (69期)**

四谷店: Tel:03-3350-9490  
 〒160-0004新宿区四谷1-21三井資産ビルB1  
 神田店: Tel:03-3251-2003  
 〒101-0047千代田区内神田3-21-6村越ビルB1  
<http://r.gnavi.co.jp/e129700/>

**下関ゆかり会**  
 44期 関東在住者一同



まだまだ現役で張り切っています

旭陵同窓会を応援します。同期だけでなく、ご連絡をお待ちしております  
 (代表) 梅田 晴正 (メール: [haru@lims.jp](mailto:haru@lims.jp) Tel:090-7816-9431)

**祝 平成23年度 旭陵同窓会東京支部総会**

**鹿島建設株式会社 旭陵同窓生有志**



イズミ ゆめシティ (新下関)  
 鹿島 設計・施工の県下最大級商業施設

郷 健一郎 (44期)	河野 光昭 (44期)
浅村 忠文 (52期)	坂本 忠己 (52期)
乙藤 寛治 (52期)	栗田 秀樹 (56期)
田村 正樹 (57期)	村上 泰雄 (58期)
佐々木 孝 (72期)	宮原 直枝 (73期)
金子 佳憲 (75期)	

100年をつくる会社  
**鹿島**

このたびの東日本大震災により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。



旭陵同窓会東京支部総会・懇親会のお知らせ

土曜日  
2011.7.23

テーマ  
未来へつなぐ旭陵の絆

15:00 ~ 18:30

旭陵同窓会東京支部 - 創設50周年 -

会場

ホテルグランドパレス2階

ダイヤモンドルーム

東京都千代田区飯田橋1-1-1  
TEL:03-3264-1111  
東西線九段下駅(7番)から徒歩1分  
半蔵門線・都営新宿線九段下駅(3a)  
から徒歩3分  
http://www.grandpalace.co.jp/

ご招待恩師

松井 忠夫 先生 (社会)  
手束 猛 先生 (体育)  
中本 静暁 先生 (理科)

参加会費

- 一般会員 8,000 円
- 20代会員 3,000 円
- 大学生 1,000 円
- 同伴者 5,000 円
- 32期以前の皆様(プラチナ会員) 3,000 円

イベント

- 『福引抽選会』
- 『西高・下関のDVDを放映』
- 『下関ブランド...下関の“ウマイ”が大集合』



年会費

年会費: 2,000 円  
東京支部の円滑な運営のため、ぜひ年会費をお納めください。総会にご出席いただく方は、当日会場にて参加会費と一緒に支払ってください。



編集後記



打ち合わせ30分に対して、飲み会3時間ではなかなか物事が決まらず、どうなることかと思っておりましたが、諸先輩の方々のご協力のおかげで総会まで残り1か月までこぎつけることが出来ました。

ご多忙にも拘わらず快く寄稿して下さった方々、広告の出稿、寄付をして下さった方々、57期生幹事一同より深く感謝を申し上げます。

最後に、総会に出席されたことのない方々へ

意外に面白いので、一回来てみたら?

(笹野記)

インフォメーション	支店長挨拶	役員録
西高今昔	掲示板	総会の記録
収支	会報	リンク

旭陵同窓会

KYOKURYO ALUMNI ASSOCIATION

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

インフォメーション Information

東京支部のホームページでお待ちしています。  
[www.kyokuryo-dosokai.com](http://www.kyokuryo-dosokai.com)

平成15年11月より、東京支部のホームページを運用しています。支部活動の広報ツール、また、支部会員相互の情報交流の場として活用していただき、同窓会活動を楽しんでいただければ幸いです。

【お願い】メールマガジン配信のためのメールアドレスの新規登録を、出来るだけ多くの会員の皆様にお願いたします。

【WEB委員会一同】顧問=森脇敏和、伊村雄士(49期)

暫定委員長=篠原清佳(50期) 委員=長山恒正、福田杜志(55期)、廣瀬千春、藤本孝浩(56期)

責任委員=磯部弘志、西本 靖、吉永 旭(57期)

【内容】インフォメーション、交友録、西高今昔、掲示板、会報、リンクなど。